

愛知県地震概況

令和8年（2026年）2月

この資料は速報であり、後日の調査で修正することがあります。

○概況

1. 愛知県内で震度1以上を観測した地震の状況

2月に愛知県内で震度1以上の揺れを観測した地震が1回発生しました。

2. 愛知県内や愛知県周辺で発生した主な地震

①11日17時36分静岡県西部でM3.4の地震（最大震度2 深さ19km）が発生しました。

3. 深部低周波地震（微動）の活動状況

・東海（領域a）

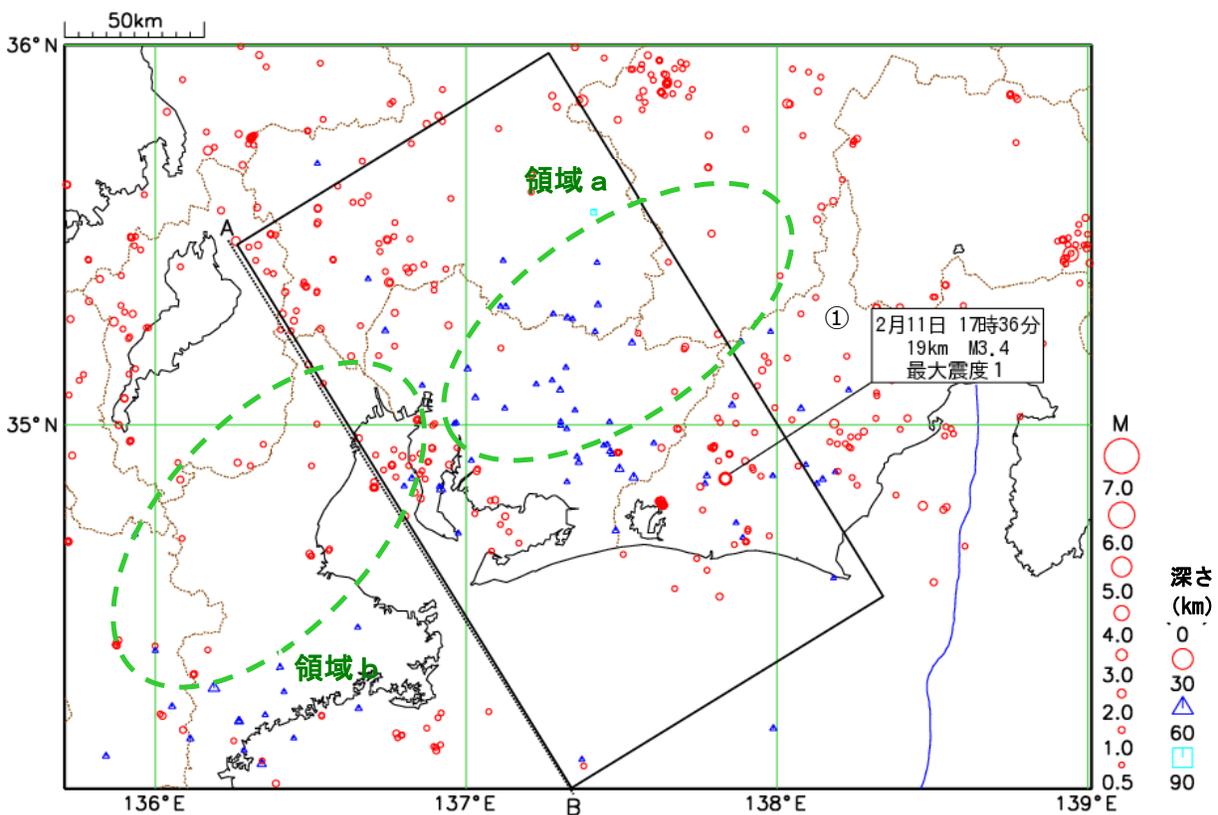
21日～22日、26日

・紀伊半島北部（領域b）

4日～5日、8日～12日^{注1}、14日～24日^{注1}

注1 防災科学技術研究所による解析では、8日～12日、14日～24日にかけて微動活動が見られた。

震央分布図、断面図は次ページ

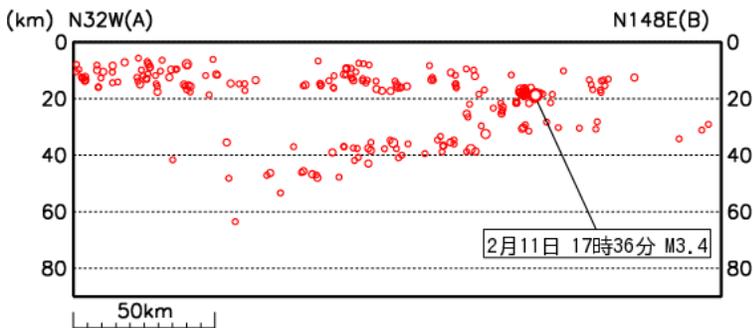


震央分布図 (2026年2月1日～28日 深さ0～90km M \geq 0.5)

深部低周波地震 (微動)

深部低周波地震の震央は震源決定精度が高くないため、地震が発生した領域を破線で表示しています。

(注) Mはマグニチュード (地震の規模) の略です。



左の断面図は、震央分布図中の斜めの四角形内の震源を、A-Bに沿って置いたスクリーンに投影する形でプロットしたものです。深さ 25km 程度までの浅い震源の分布域は、陸側プレートの地殻内の活動によるもので

○県内で震度 1 以上を観測した地震

静岡県西部の地震（2 頁目震央分布図の①）

11 日 17 時 36 分静岡県西部で発生した M3.4 の地震（深さ 19km）により、静岡県で震度 2 を、長野県、岐阜県、愛知県で震度 1 を観測しました。（図 1）。

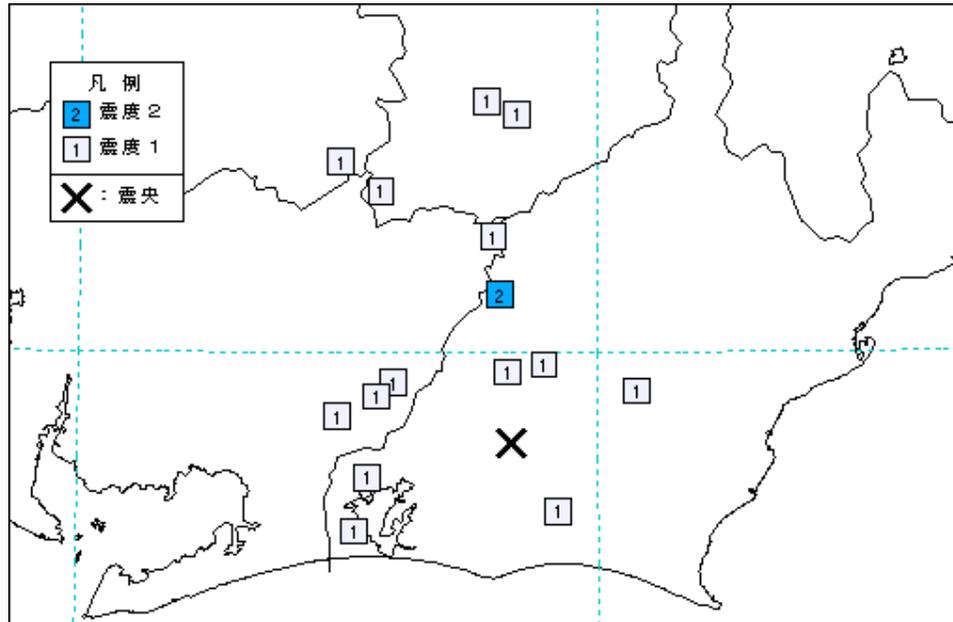


図 1 11 日 17 時 36 分 M3.4 震度分布図
(観測点別、×:震央)

○震度 1 以上を観測した地震の表（愛知県）

震源時（年月日時分）	震源地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
各地の震度					
2026 年 02 月 11 日 17 時 36 分	静岡県西部	34° 51.4' N	137° 50.0' E	19km	M3.4
愛知県	震度 1: 新城市乗本,新城市大野*,新城市東入船*,豊根村富山*				

(注 *印の地点は、地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。)

※本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025 年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortium の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※本資料中で使用している地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 29 情使、第 798 号）。

※地震関係の資料・情報は、名古屋地方気象台のホームページ『<https://www.data.jma.go.jp/nagoya/index.html>』からも随時ご覧になれますので、あわせてご利用下さい。

※2020 年 9 月以降に発生した地震を含む図については、2020 年 8 月以前までに発生した地震のみによる図と比較して、新たな海域観測網観測データの活用等により、震源の位置や決定数に見かけ上の変化がみられることがあります。

令和7年巨大地震対策オンライン講演会のアーカイブ

令和7年12月6日に開催された「巨大地震対策オンライン講演会」のアーカイブが公開されました。下記 URL から YouTube に掲載されている講演動画へアクセスすることで視聴いただけます。

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/jishin/jishin_bosai/r7_lecture.html#archive

改めて地震や津波についての理解を深め、いざという時に気象庁が発表する情報を最大限活用いただき、被害軽減につなげられるよう、ぜひご視聴ください。

講演題目は下表のとおりです。

講演題目	第1 講座「地震津波の情報とその利活用」 海老田 綾貴 気象庁地震火山部地震津波監視課長
	第2 講座「巨大地震の被害想定と防災対策について」 森久保 司 内閣府政策統括官(防災担当)付参事官（調査・企画担当）
	第3 講座「残されてきた資料や観測データから過去の巨大地震や災害を知り、未来へ残す取り組み」 室谷 智子 国立科学博物館 理学研究部 理化学グループ グループ長
	第4 講座「『長周期地震動の予測情報』を活用した エレベーター制御システム」 大庭 敏夫 三菱地所株式会社 丸の内運営事業部 主幹
	第5 講座「鉄道事業における地震の備えについて」 小松原 志郎 相模鉄道株式会社 安全推進部 課長代理